

表 1 平成 29 年度詳細環境調査検出状況・検出下限値一覧表

物質 調査 番号	調査対象物質	水質(ng/L)		底質(ng/g-dry)		大気(ng/m ³)	
		範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値
[1]	α-アルキル-ω-ヒドロキシポリ(オキシエチレン) (アルキル基の炭素数が 9 から 15 までで、かつ、オキシエチレンの重合度が 1 から 15 までのもの) (別名: ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が 9 から 15 までで、かつ、オキシエチレンの重合度が 1 から 15 までのもの)) ※						
	(参考値) [1-1] ポリ(オキシエチレン)=ノニルエーテル類 (オキシエチレンの重合度が 1 から 15 までのもの)	nd~58 1/25	※※23				
	(参考値) [1-2] ポリ(オキシエチレン)=デシルエーテル類 (オキシエチレンの重合度が 1 から 15 までのもの)	nd~98 2/25	※※23				
	(参考値) [1-3] ポリ(オキシエチレン)=ウンデシルエーテル類 (オキシエチレンの重合度が 1 から 15 までのもの)	nd~25 1/25	※※23				
	[1-4]ポリ(オキシエチレン)ドデシルエーテル類 (オキシエチレンの重合度が 1 から 15 までのもの)	nd~5,300 21/25	※※14				
	(参考値) [1-5] ポリ(オキシエチレン)=トリデシルエーテル類 (オキシエチレンの重合度が 1 から 15 までのもの)	nd~30 1/25	※※23				
	(参考値) [1-6] ポリ(オキシエチレン)=テトラデシルエーテル類 (オキシエチレンの重合度が 1 から 15 までのもの)	nd~137 3/25	※※23				
	(参考値) [1-7] ポリ(オキシエチレン)=ペンタデシルエーテル類 (オキシエチレンの重合度が 1 から 15 までのもの)	nd 0/25	※※23				
[2]	エチレンジアミン四酢酸及びその塩類 (エチレンジアミンとして) ※	350~120,000 26/26	37				
[3]	デシルアルコール※	nd~13 2/26	6.2	nd~520 17/24	1.1		
[4]	トリフェニルホウ素(III)及びその化合物 (トリフェニルホウ素として)	nd~0.37 14/25	0.023				
[5]	1,2,4-トリメチルベンゼン※	nd~110 1/23	33				
[6]	トルイジン類※						
	[6-1] o-トルイジン					nd 0/15	1.8
	[6-2] m-トルイジン					nd 0/15	0.91
	[6-3] p-トルイジン					nd 0/15	1.4
[7]	ナフタレン※	nd~9.5 8/26	0.11	0.58~2,400 23/23	0.34		
[8]	ニトリロ三酢酸及びその塩類 (ニトリロ三酢酸として) ※	50~4,500 26/26	60				
[9]	ニトロベンゼン※					nd~140 3/22	5.4
[10]	メタクリル酸※					nd~9.1 8/17	5.4

(注1) 検出頻度は検出地点数/調査地点数 (測定値が得られなかった地点数及び検出下限値を統一したことで集計の対象から除外された地点数は含まない。) を示す。1地点につき複数の検体を測定した場合において、1検体でも検出されたとき、その地点は「検出地点」となる。

(注2) 範囲は全ての検体における最小値から最大値の範囲で示した。そのため、全地点において検出されても範囲がnd~となることがある。

(注3) ■は調査対象外の媒体であることを意味する。

(注4) ※: 排出に関する情報を考慮した地点も含めて調査した物質であることを意味する。

(注5) ※※: オキシエチレンの重合度別の検出下限値の合計値である。

(注6) 参考値: アルキル基の炭素数が 12 以外のポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル類については、組成を推計した工業製品を用いて環境試料中の濃度を定量したため、参考値として掲載している。